

《インシデントのレベル評価・分類》

リスクレベル

0	間違った行為が発生したが、未実施
1	間違った行為による実害なし ※何らかの影響を与えた可能性は否定できない
2	処置・治療は行わなかったが、観察強化が必要 ※バイタルサインの軽度変化、安全確認の為の検査等を施行
3 a	簡単な処置や治療を要した ※消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与等 チューブ類の再挿入、造影剤を伴わないレントゲン撮影
3 b	濃厚な処置や治療を要した ※バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、 入院日数の延長、外来・入院患者の骨折等を含む
4 a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
4 b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
5	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
その他（分類不能）	

国立大学附属病院安全管理協議会「インシデントの影響分類」をもとに改変

管理レベル

1	システム改革・具体的対策は必要なく、自助努力の範囲で改善可能
2	緊急性はないが、システム改革・具体的対策を要する
3	早急（緊急）なシステム改革・具体的対策を要する